

春日井建の世界

— 没後10年、その軌跡をたどる

歌人春日井建は、昭和13年に、ともに歌人である春日井瀧、政子を両親として江南市に生まれました。17歳頃から父瀧が編集する「短歌」(中部短歌会発行)に作品を出し始め、昭和33年には、「未青年」50首を「短歌」(角川書店発行)に発表し、一躍注目を集めました。昭和35年には塚本邦雄、寺山修司、岡井隆らとともに同人誌「極」を創刊し、前衛短歌運動に加わります。同年には、20歳までの作品を集めた第一歌集『未青年』を刊行し、三島由紀夫が序文で「われわれは一人の若い定家を持った」と讃辞を贈っています。

昭和45年の第二歌集『行け帰ることなく』以後は作歌を中断し、ラジオドラマ、演劇、音楽など、活動の幅を広げて行きます。昭和54年に「短歌」の編集発行人を父より引き継ぎ、作歌を再開してからは、名古屋を拠点に活躍し、平成10年には短歌研究賞を受賞しています。晩年には病と闘いながら新たな歌境を開き、平成12年には『白雨』と『友の書』で逡空賞を受賞しました。

本年は平成16年5月22日に65歳で逝去した春日井建の没後10年にあたり、その軌跡をたどる企画展を開催します。二葉館に所蔵している春日井建ゆかりの貴重な資料を展示するとともに、短歌をはじめ各分野での多彩な活動について紹介いたします。



トークイベント

春日井建を語る

— 短歌総合誌「短歌研究」前編集長 押田晶子

編集者として歌人春日井建に関わった思い出を語っていただきます。

聞き手 小塩卓哉氏(中部日本歌人会委員長)

日時 平成26年6月1日(日)13:30~15:00 会場 1階大広間

※申込み不要(観覧無料:要入館料)席は当日先着順

押田晶子氏 プロフィール

1975年短歌研究社へ入社。2008年まで、短歌総合誌「短歌研究」の編集にあたる。編集者として、春日井建をはじめ現代短歌の代表歌人の多くを担当。

小塩卓哉氏 プロフィール

1984年「音」短歌会に入会し、武川忠一に師事する。1992年第十回現代短歌評論賞受賞。歌集『樹皮』、評論集『新定型論』『名歌のメカニズム』等がある。中部日本歌人会委員長。

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3-23

TEL & FAX 052-936-3836

<http://www.futabakan.jp/>

※このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

「ドニエッコきっぷ」【一日乗車券】

を利用してご来館の方は入館料割引!一般200円→160円



交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

